

既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	(倫理) 第 3441 号
研究課題	傷口内残留被毛を用いた動物咬傷加害個体の遺伝学的識別
本研究の実施体制	研究責任者：佐野 利恵（熊本大学大学院生命科学研究部 教授） 研究分担者：笹尾 亜子（同 講師）、堤 博志（同 助教） 共同研究機関：秋田大学（研究責任者：早川 輝 教授）
本研究の目的及び意義	動物による咬傷と鋭器損傷の鑑別、および加害動物の特定は法医学において極めて重要です。本研究では、傷口に残された被毛から DNA 解析を行い、野生動物による損傷か飼育動物等による攻撃かを客観的に識別する手法を検証します。これにより、正確な死因診断の向上を目指します。
研究の方法	対象：2024 年 4 月から 2029 年 3 月の間に本学および秋田大学で司法解剖等が施行された方のうち、動物による損傷が認められた症例。 解析：既存の被毛や解剖記録を用い、DNA 解析（種同定・個体識別）と形態学的所見を照らし合わせます。結果は論文や学会で報告します
研究期間	2026 年 4 月 2 日から 2030 年 3 月 31 日まで
試料・情報の取得期間	2024 年 4 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日まで
研究に利用する試料・情報	試料：被毛、DNA 抽出物 情報：解剖所見、生化学検査値、現場写真、捜査情報（足跡・飼育状況等） 保管・廃棄：佐野利恵（管理責任者）のもと、法医学講座内の専用 PC や冷凍庫で厳重に保管し、研究終了 10 年後に適切に廃棄します。

個人情報取扱い

氏名や住所を削除し、代わりに研究用番号を付与す匿名化を行います。対応表は外部と遮断された専用 PC で厳重に管理します。成果報告時に個人が特定されることはありません。情報はパスワード管理等により漏洩を防止します。

研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

開示：原則として個別の開示は行いません。請求がある場合は、法令や学内規定に基づき慎重に対応します。

偶発的所見：本研究は動物の DNA 解析を目的としており、ヒトの健康に重要な所見が得られる可能性は極めて低いですが、万が一得られた場合は専門家で協議します。

利益相反について

資金源：運営費交付金、受託研究費。

管理：本研究は熊本大学利益相反ポリシーに基づき適切に管理され、公正かつ健全に研究を遂行し、研究対象者の利益を優先します。

本研究参加へのお断りの申し出について

試料・情報の利用を希望されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出があった場合は、速やかに解析対象から除外します。その際、不利益が生じることは一切ありません。

本研究に関する問い合わせ

熊本大学大学院生命科学研究部（基礎系）法医学

担当者：佐野 利恵

電話番号：096-373-5124